

## 学校法人日本医科大学産学連携ポリシー

現代の大学は、将来を担う人材の育成と学術研究を通じた「知」の創出という長期的視点からの貢献だけでなく、社会との交流を広く行なうことを通じて自らの研究成果を社会に還元して人類の福祉と社会の進歩に貢献することが求められています。

学校法人日本医科大学（以下、「本法人」という。）が設置する日本医科大学は「克己殉公」の学是、「愛と研究心を有する質の高い医師と医学者の育成」の教育理念、日本獣医生命科学大学は「敬讓相和」の学是、「愛と科学の心を有する質の高い獣医師と専門職及び研究者の育成」の教育理念のもと、それぞれ本来の使命である教育と研究に加えて、社会の一員としてこれまでも企業等との共同研究や研究成果の技術移転等を積極的に行なってきました。

本法人は、日本医科大学及び日本獣医生命科学大学のこれまでの実績を踏まえて国、地方公共団体、産業界等との交流をさらに深め、研究成果の普及を通じて社会に貢献することを重要な使命と位置づけ、両大学の特徴を十分に生かした産官学連携活動に積極的に取り組むため、次のとおり産学官連携ポリシーを定めます。

1. 日本医科大学及び日本獣医生命科学大学における教育・研究活動の自主性を尊重した産学官連携活動を推進します。
2. 産学官連携の推進に際しては、生命倫理並びに個人の情報保護の重要性を十分認識して活動します。
3. 学術研究をいっそう強力に推進し、そこから得られる研究成果を産業界等に積極的に発信、還元することにより、教育と学術研究の促進に役立てます。
4. 産学官連携活動を効果的かつ持続的に推進し、産業界並びに地域社会の発展に貢献します。
5. 透明性の高い産学官連携活動を推進し、社会に対する説明責任を果たします。

（平成 18 年 1 月 1 日制定）